



AN010 Case Model Guide

Version 1.02

2007 年 7 月 20 日

株式会社アットマークテクノ

<http://www.atmark-techno.com/>

Armadillo 公式サイト

<http://armadillo.atmark-techno.com/>

目次

1. はじめに	1
1.1. 本マニュアルについて	1
2. 各部名称とはたらき	2
3. 起動までの手順	4
3.1. ディスプレイとUSBキーボードを接続して使用	4
3.1.1. 準備するもの	4
3.1.2. セットアップ	4
3.1.3. 起動	4
3.2. PCとシリアルケーブルで接続して使用	5
3.2.1. 準備するもの	5
3.2.2. セットアップ	5
3.2.3. 起動	5
4. 形状図	7

1.はじめに

1.1. 本マニュアルについて

本マニュアルは、Armadillo-9 ケースモデル(AN010-Cxx)特有の仕様のうち、以下の点について記載されています。

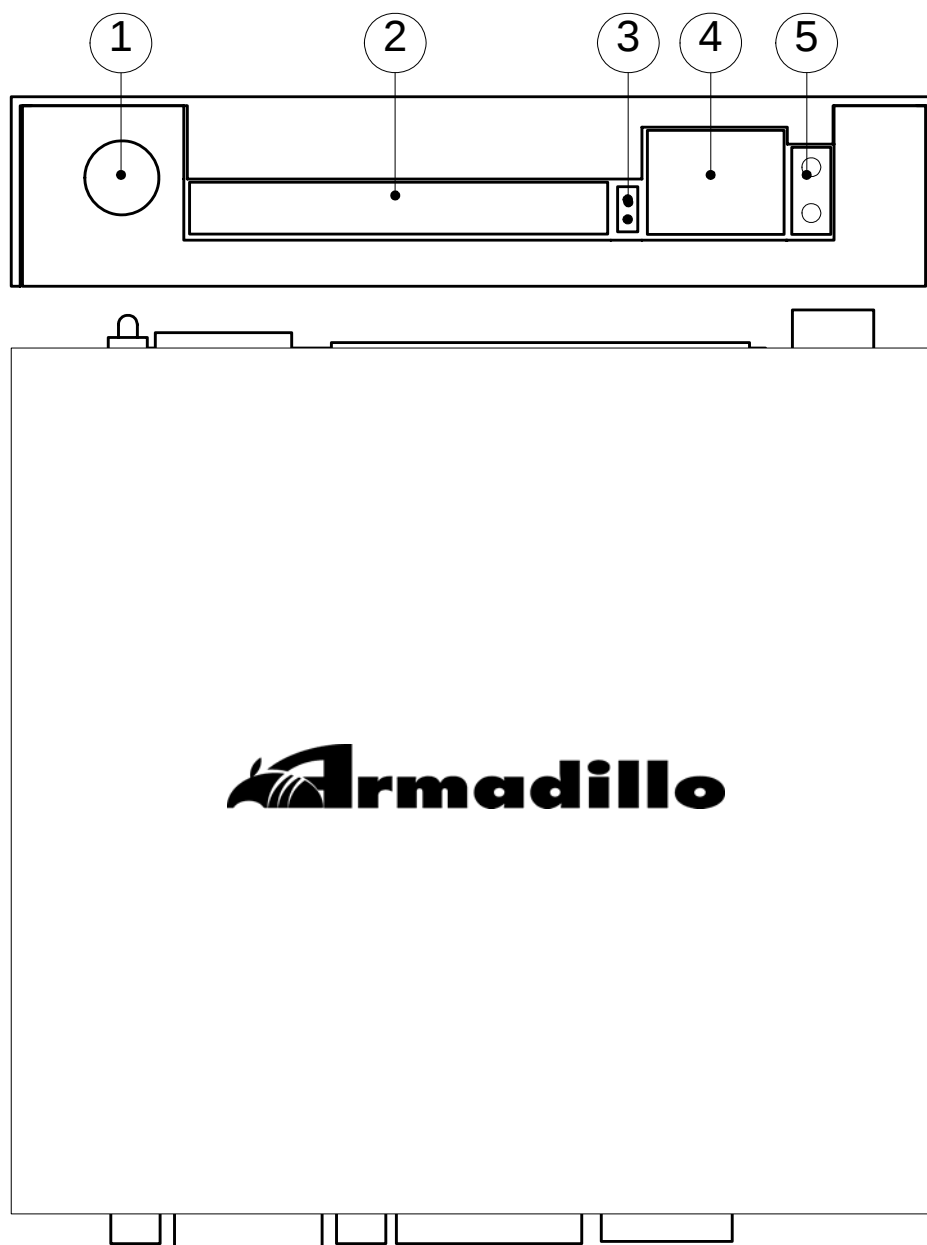
- 各部の名称と機能について
- 起動までの手順

その他の詳しい仕様や使用方法に関しましては、「Software Manual」および「Hardware Manual」を参照してください。

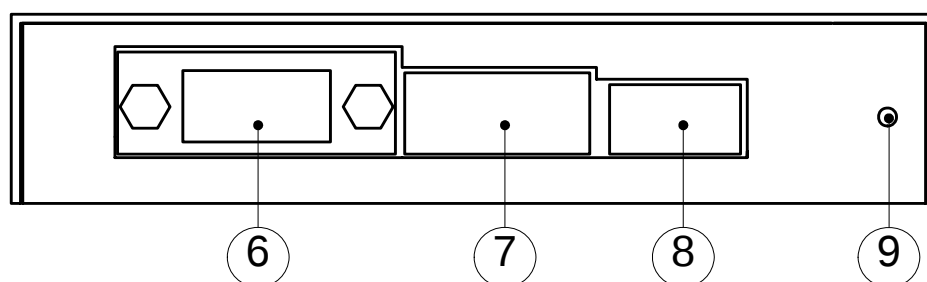
また、Armadilloオフィシャルサイト (<http://armadillo.atmark-techno.com/>) では、How to や FAQ をはじめ、Armadilloユーザ用のメーリングリストなどを用意しておりますのでご活用ください。

2. 各部名称とはたらき

【本体背面図】



【本体正面図】



電源コネクタ

付属のACアダプタを接続するためのコネクタです。Armadillo-9には電源スイッチはなく、ACアダプタを抜き差しすることで電源をON/OFFします。

コンパクトフラッシュスロット

コンパクトフラッシュカードのスロットです。CFタイプの各種カードを挿入します。Linuxのカーネルやユーザランドを記録したコンパクトフラッシュを用意し、その内容で起動することも可能です。

起動モードジャンパピン

起動モードを変更するためのジャンパピンです。付属のジャンパソケットでショートさせるとブートローダーのコマンドモードで起動することができます。起動モードの詳細は付属CD-ROM内のSoftware Manual「ジャンパピンの設定」項を参照してください。当ピンはJP2に相当します。またJP1はケース内にあり、オープン状態となっています。

LANコネクタ

EtherNetのコネクタです。LANケーブルを接続します。

アクセスランプ/リンクランプ

EtherNetの状態をあらわすLEDです。緑色のLEDがリンク状態をあらわし、赤色のLEDがアクセス状態をあらわします。

VGAコネクタ

ディスプレイを接続するためのコネクタです。

シリアルコネクタ

シリアル入出力を行うためのコネクタです。付属のシリアル変換ケーブルを接続することで、市販のシリアルケーブルが利用できます。

USBポート

USB2.0のポートです。USBキーボードなどの各種USB機器を接続します。

電源LED窓

この窓から電源状態をあらわすLEDが確認できます。

3. 起動までの手順

Armadillo-9 の使用方法には、USB キーボードとディスプレイを接続して Armadillo-9 単体で使用方法と、シリアルケーブルを PC に接続して、PC から操作する方法があります。
ここではそれぞれの方法で使用するための準備から起動までを説明します。

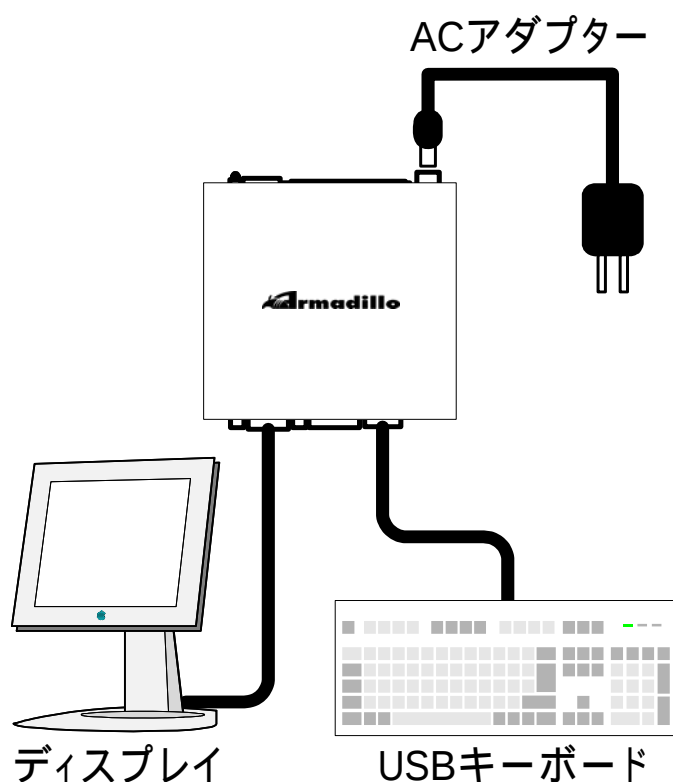
3.1. ディスプレイと USB キーボードを接続して使用

3.1.1. 準備するもの

- ディスプレイ
VGA 入力端子を持つ汎用的なディスプレイです。
- USB キーボード
USB ポートと接続するタイプのキーボードです。

3.1.2. セットアップ

下の図を参照して、ディスプレイ、USB キーボードを Armadillo-9 に接続してください。



3.1.3. 起動

付属の AC アダプターを接続すると、Armadillo-9 が起動します。
ディスプレイ上に画面が表示された後、しばらくするとログインプロンプトが表示されます。
ユーザ名、パスワードを共に「root」と入力してログインしてください。

まれに USB キーボードの認識に失敗する場合があります、USB ソケットを抜き差ししてみてください。
また、USB キーボードの個別の特性によっては、使用できない可能性もありますのでご了承ください。

DHCP サーバからの応答を待つため、ログインプロンプトが表示されるまでに時間がかかります。この問題は DHCP サーバの存在するネットワークに接続するか、固定の IP を割り当てることで解消されます。

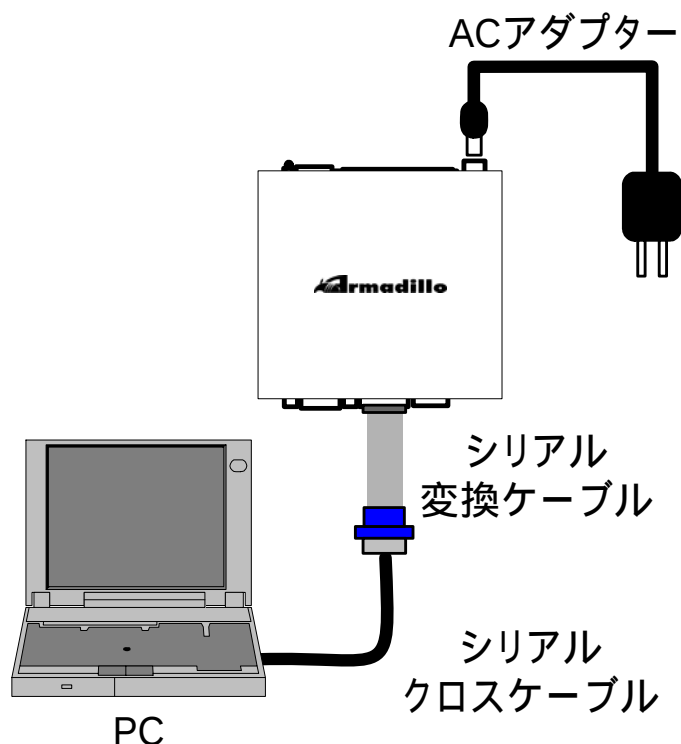
3.2.PC とシリアルケーブルで接続して使用

3.2.1. 準備するもの

- 作業用 PC
Linux もしくは Windows が動作し、1 ポート以上のシリアルポートを持つ PC です。
- シリアルコンソールソフト
minicom や Tera Term などのシリアルコンソールソフトです。(Linux 用のソフトは付属 CD の「tools」ディレクトリにあります。)

3.2.2. セットアップ

下の図を参照して、付属のシリアル変換ケーブルとシリアルクロスケーブルで作業用 PC と Armadillo-9 を接続してください。



3.2.3. 起動

作業用 PC でシリアルコンソールソフトを起動し、以下の表に合わせて通信設定を行ってください。

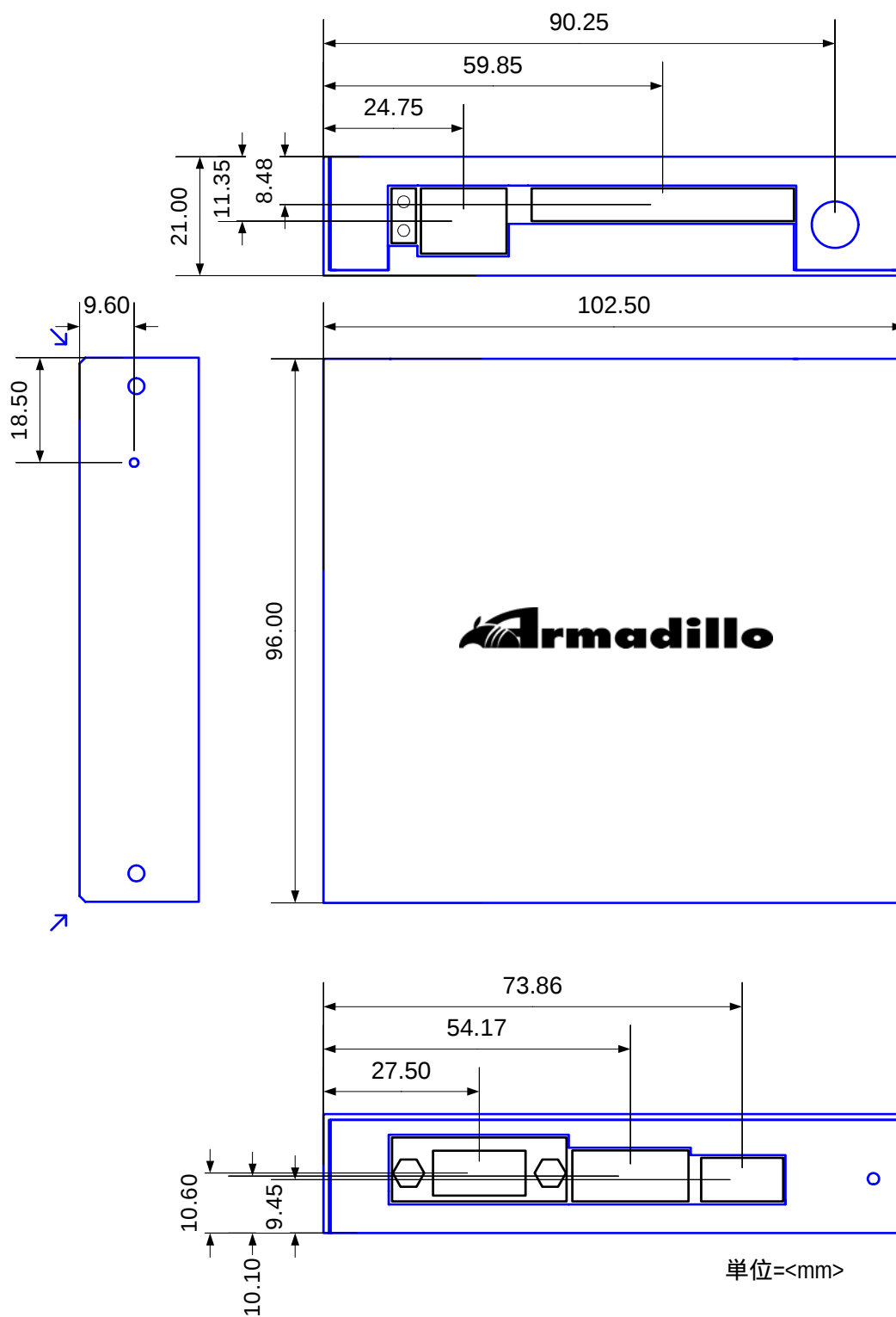
項目	設定
転送レート	115,200bps
データ長	8bit
ストップビット	1bit
パリティ	なし
フロー制御	なし

付属の AC アダプターを接続すると、Armadillo-9 が起動します。
ターミナルソフト上に起動ログが表示された後、しばらくするとログインプロンプトが表示されます。
ユーザ名、パスワードを共に「root」と入力してログインしてください。

DHCP サーバからの応答を待つため、ログインプロンプトが表示されるまでに時間がかかります。この問題は DHCP サーバの存在するネットワークに接続するか、固定の IP を割り当てることで解消されます。

4.形状図

Armadillo-9 ケースモデル形状図



改訂履歴

Ver.	年月日	改訂内容
1.00	2005.3.10	・ 初版発行
1.01	2005.6.24	・ 4.形状図を追加
1.0.2	2007.7.20	・ ドキュメントプロパティのタイトルと作成者を修正 ・ ページヘッダ、ページフッタを追加

